

＝ 普 及 情 報 ＝

№.

平成30年2月8日

隠岐支庁農林局農政・普及部

標 題	産直向け農産物の生産拡大を目指した研修会を開催
-----	-------------------------

(ダイジェスト)

<p>産直向け農産物の品質向上、出荷促進等を目的に、標題の研修会を開催しました。</p> <p>研修会では、JAしまね米穀園芸部から講師を招き、売れる商品づくり等について講義を受け、普及部からは、産直市での不足品目及び量について説明しました。</p> <p>参加者からは、出荷促進に向けたハウス整備の必要性について意見が聞かれ、今後の生産拡大に向けて有意義な研修会となりました。</p>

隠岐の島町では、生産者と関係機関が連携して、地産地消を推進しており、隠岐ふるさと直売所協同組合（あんき市場）を始めとする、産直向け農産物の生産拡大に取り組んでいます。

その中で、生産者による品質差、時期毎の農産物の過不足等が課題となっており、これらの課題に対応することを目的として、隠岐農産物生産者協議会主催で標題の研修会を開催し、生産者14名が参加しました。

研修会では、JAしまね米穀園芸部の須山部長補佐を講師に、時期毎の売れ筋商品、消費者に買ってもらえるための包装方法等について紹介がありました。

併せて、安全・安心な農産物のお荷に向けて、産直向け野菜での農薬誤用事例及び生産履歴記帳の重要性について説明を受けました。

普及部からは、あんき市場のPOSデータを活用し、過去の販売実績を集計・分析することで、各月の不足品目及び量について説明し、店舗の品揃え充実に向けて、出荷促進を呼びかけました。

参加者からは、薬物類等が不足する春先の出荷促進に向けて、施設栽培の必要性等について意見が聞かれ、普及部としては、生産者のハウス保有状況等について把握することができ、有意義な研修会となりました。

今回の研修会で、産直市向けハウス整備等の対策が必要と考えられたことから、今後は関係機関と連携して、支援内容を検討していきたいと考えています。



写真 研修会の様子